

地域貢献への取り組み

社会貢献・CSR(企業の社会的責任)活動

社会貢献活動は地域金融機関にとっての重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全活動など、さまざまな活動に取り組んでいます。

地域社会への貢献活動

当行では、役職員による募金と銀行からの寄付金で基金を造成する「りゅうぎんユイマール助成会」を通じて、地域の社会福祉活動や環境保全活動を支援しており、平成27年度は49団体に対し、756万円の助成金を贈呈しました。

また、沖縄県の子どもの3割が貧困状況にあるという社会的な課題に対して、平成28年2月に子ども食堂を運営している12団体に食材支援として25キロのお米を贈呈し、平成28年度からは子ども支援団体への食材・資金援助を毎月実施しています。

平成28年3月には、小規模福祉作業所等の展示即売会「ナイスハートバザールイン沖縄」への長期にわたる特別協賛やボランティア派遣活動等が評価され、沖縄県主催の「沖縄県福祉のまちづくり賞」において沖縄県知事賞を受賞しました。

このほか、社会福祉活動に取り組んでいる団体等へ助成する「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」や沖縄県の国際化を推進する事業等に助成する「一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団」の事務局としてその運営に携わっています。

人材育成への支援活動

毎年夏休み期間中に小学5・6年生を対象として「りゅうぎんキッズスクール」を開催しています。13回目となる平成27年度は、ゲームを通じて経済の仕組みやお金の流れ等を学習する「経済教室」や、科学に興味を持ってもらうことを目的とする「サイエンス教室」を開催しました。

芸術文化支援活動

沖縄県の伝統工芸の一つである紅型の振興と若手工芸家の育成ならびに紅型デザインの新しい領域の追及を目的に「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。

平成28年2月には、同コンテストの入選作品が日本トランスオーシャン航空(以下、JTA)の航空新型機ヘッドレストカバーデザインとして採用されました。ヘッドレストカバーへの紅型デザイン採用は、沖縄県内外のお客さまに機内で「沖縄らしさ」を感じていただきたいというJTAの想いと、沖縄の伝統工芸である紅型の周知や振興に貢献したいという当行の想いが重なったことで、実現いたしました。

※りゅうぎんユイマール助成会

「りゅうぎんユイマール助成会」は、平成5年に当行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に寄付金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで基金を造成します。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は443件、1億6,706万円となりました。(平成28年3月31日現在)



子ども支援団体へのお米贈呈



第31回ナイスハートバザールイン沖縄



JTA航空新型機ヘッドレストカバーに採用された紅型デザイン